

グッとくるよ

# こぶしだより



SSKW

## 「障害者総合福祉法の骨格に関する

## 総合福祉部会の提言」を考える

昨年八月三十日の障がい者制度改革推進会議第十八回総合福祉部会で「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言(骨格提言)」が取りまとめられました。「骨格提言」は、平成十八年に国連が採択した『障害者権利条約』と、平成二十二年一月に国(厚生労働省)と障害者自立支援法訴訟原告らとの間で結ばれた『基本合意文書』を基本指針としており、下記の十章からなる。

### ●骨格提言十項目とそのポイント●

- 一、法の理念・目的・範囲  
保護の対象から権利の主体へ、医学モデルから社会モデルへ
- 二、障害者の範囲  
「谷間」を生まない包括的規定に
- 三、選択と決定(支給決定)  
その人が望む暮らしを最大限に尊重し、申請から決定までわかりやすく
- 四、支援(サービス体系)  
「全国共通の仕組みで提供される支援」と「地域の実情に応じて提供される支援」
- 五、地域移行支援  
施設・病院→元の家庭だけでなく、自ら選んだ住まい、自分らしい暮らし
- 六、地域生活の資源整備  
国は、障害者総合福祉法において「地域基盤整備十カ年戦略」(仮称)を策定する
- 七、利用者負担  
困難を抱えている人たちに幅広く対応
- 八、相談支援  
深まった議論と法制度を
- 九、権利擁護  
障害者の基本的権利を保障するため、適正な事業の報酬と必要な人材を確保すべき
- 十、報酬と人材確保



上三川ふれあいの家ひまわりのパン屋さんが完成しました。5月中のオープンを目指して頑張ります!!応援よろしくお願ひしませう。

アトリエ・ド・パン  
ひまわり(仮名)  
5月オープン予定

社会福祉法人  
こぶしの会  
TEL/028-613-3707  
FAX/028-666-6128  
栃木県宇都宮市柳田町  
1401

NO. 351

【企画】社会福祉法人こぶしの会 【責任者】藤田勝春 【編集責任者】高橋温美  
【編集】こぶしだより編集委員会 【住所】〒331-0902 宇都宮市柳田町一四〇一番地

【発行所】〒157-0073 東京都世田谷区砧六―二六―一  
特定非営利活動法人障害者団体『月刊行物協会』

定価五〇円

# 海援隊 トーク&ライブ 2012

## 社会福祉法人こぶしの会 けやき作業所20周年 セルブ・みらい10周年記念コンサート

「障害があっても働ける作業所を地域に作ろう」を合言葉に開所した「けやき作業所(芳賀町)」と「セルブ・みらい(真岡市)」が節目を迎える今年、感謝とさらなるご理解を得る場として開催します!

5月13日母の日

社会福祉法人こぶしの会  
けやき作業所20周年 セルブ・みらい10周年記念コンサート  
トーク&ライブ  
海援隊 2012

主催:けやき作業所20周年 セルブ・みらい10周年記念コンサート実行委員会  
母の日  
平成24年5月13日(日) 芳賀町民会館  
TEL:028(677)0009

開演:15:00 入場料:5,000円一般 全席自由  
14:30 3,000円小学生以下・障がい者

プレイガイド チケットのお求めは下記まで  
セルブ・みらい FKDショッピングモール2F (有)竹村新聞店 TEL:0285(83)7959  
けやき作業所 FKDショッピングプラザ宇都宮3F 金子電機 TEL:0285(82)1200  
芳賀町民会館 TEL:0285(81)1155 FAX:0285(81)1177

協賛: 大野建設株式会社 (有)宮永自動車 宇都宮市障がい者福祉協議会  
大野建設株式会社 TEL:0285(82)1111 宇都宮市障がい者福祉協議会 TEL:0285(82)1111  
大野建設株式会社 TEL:0285(82)1111 宇都宮市障がい者福祉協議会 TEL:0285(82)1111

「二十周年を迎えるにあたり、これまで地域の方々に多大なご支援をいただきました。これからも、社会へ積極的に参加し、地域と一体となった開かれた作業所づくりを目指し、今回は感謝の気持ちをこめて、コンサートを企画しました。このコンサートは、後援会、家族会、事業所が手を取り合い実施しています。この事業を通し、より作業所の認知を深め広めたいと考えています」(けやき作業所:先灘所長)

両所長の意気込み聞いてきました

「十周年を迎えるにあたり、これまで多くの方々に、セルブ・みらいへの理解と地域福祉の推進ならびに協力を呼び掛け、家族・利用者・地域の方々と共にセルブ・みらいという事業所を伸ばしていただきました。また、今回の記念コンサートを契機として、家族・地域の方々により一層事業所へ関わっていただくことで、セルブ・みらいの更なる飛躍につながっていくと考えています」(セルブ・みらい:青木所長)

取材:小野

問い合わせ・チケット販売  
セルブ・みらい TEL:0285-81-1155 FAX:0285-81-1177  
けやき作業所 TEL:028-687-1040 FAX:028-677-5789  
チケット取り扱い先  
芳賀町民会館 TEL:028-677-0009  
FKDショッピングモール2F・(有)竹村新聞店 TEL:0285-83-7959  
FKDショッピングプラザ宇都宮3F・金子電機 TEL:0285-82-1200

～編集後記～  
○…5月13日(母の日)に行われる「海援隊コンサート」。今まで海援隊の曲をあまり聴いたことが無く、先日初めてしっかりと聴いてみました。…素晴らしいかったです。感動しました。皆様も是非、生で海援隊の演奏を聴いてみてください。(小野)  
○…1年前に震災があったからかどうかはわかりませんが、振り返ってみると、まわりにいる人から気づかされたことが多く、人から学ぶことが多かったように思います。このことを私も還元していける1年にしていきたいと思ひます。(菊地)  
○…来年度は、さらにグッとくる、こぶしだよりを届けられるようにがんばります。みなさまからのアドバイスや感想をお待ちしております。(篠崎)  
○…今年度始めた事…たくさんあります。決めたのにできなかったこと…もっとたくさんあります。言い訳ばかり考えてたなあ…。肉と後悔が残り、金と信頼が去っていきました。来年はがんばるぞー(-)zzz(牧岡)  
○…こぶしルーキーイヤーは、わけも分からず走り続けてあつという間に1年が過ぎてしまったような感じがします。利用者支援も、編集委員の業務も、まだまだ勉強すること山積み。未熟者ではありますが、新年度も頑張ります。(松本)

思い出紡ぎにデジカメのご寄贈を!!  
グループホーム・ケアホームでは、ホーム利用者の写真を撮ってたくさん思い出を紡いでいきたいと考えています。しかし、言わずもがなの財政難。買いたくはないけれど…  
そこで「新しいものに買い替えたけど古いものも捨てられない」とお悩みの方、そのデジカメに新たな命を吹き込ませていただけませんか?  
お問い合わせは  
028-666-6128 居住生活支援部 藤田

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間 8:30～17:00)



# 骨格提言と私たちの目指すもの



## 急展開する障害者制度改革の動き

障がい者制度改革推進会議の発足から三年二ヶ月を経て、平成二十四年三月十三日、障害者自立支援法等の一部を改正する法律案が閣議決定され、百八十通常国会へと制度改革とは名ばかりのマイナーチェンジ化が急速に進んでいる。

この改正法案の中身は、率直に言って①障害者の権利宣言、②自立支援法の違憲訴訟合意文書という二つの柱で済ませる制度改革の方向、そして、推進会議と分野別部会を併せて延べ七十回余、三百時間を越える議論の末にまとめられ、総合福祉部会の総意ともい

うべき「自立支援法を廃止し、新たな法律をつくるため」の提言(骨格提言)からは大きく後退した内容となっておりといわざるを得ない。

総合福祉部会委員で東京大学先端科学技術研究センターバリアフリー分野教授で全盲・全ろう者である福島智さんの意見が、この間の動向と当事者の落胆した感想を代表したものであろう(注①・参照)。



## 推進会議と総合福祉部会の願いのポイント

当事者のニーズである骨格提言が、新旧政権と厚労省のタッグで暗礁に乗り上げていくわけだが、ここで改めて当事者の願いのエッセンスである骨格提言等の考え方のポイントを簡単に整理しておく必要がある。制度の動向で私たちの航海の舵取りを見失わないためにも。

考え方の依拠するところは障害者の権利宣言や基本合意文書のエッセンスである。

推進会議と総合福祉部会の願いのその中心は、法律の文言には最後まで載らなかったが、社会モデルという考え方にはないかと思う。障がいがある人は、医学的治療対象ではなく、人間として人格を有し、生活する権利主体である

社会福祉法人こぶしの会  
常務理事 高橋 温美

という考え方への転換である。

この命題から、障がいがある人々ひとりひとりが、(彼らを取り巻く市民と同様に)権利の主体であり、社会の一員であり、障がいの種類、程度、年齢、性別により多様な社会参加ニーズ・支援が本人の希望や意思を表明し、尊重されるしくみや、それぞれの人格をみとめよう社会、差別のない社会、共生の地域社会が目指されるのだと思う。

この考え方は、今までの障がい者に対する見方の根本からの転換を迫るもので、制度の分水嶺といえるべきポイントだと思ふ。「障がい者が人間として社会で生きていくうえで絶対に必要なことが、自力では困難な人たちに對して、社会のみんなでお互いに支えあっているましよう」と要望しているだけ。」という福島智さんの発言に尽きる。



## 地獄の沙汰も金次第を乗り越えるために

多くの精神障がい者の社会的入院、知的障がい者や重複障がい者が長期施設入所を余儀なくされている等、その一つひとつの生活の場面で問題(差別)となっている現状が骨格提言では各論としてその改革が整理・提言されている。障がい者を取りまく人々は人間としてこのことを共感し、改善するために、欧米諸国では最下位となる日本の障がい者関係予算を確保し、具体的な手立てに着手していただきたいと言っているのだ。障がい者の人間復帰を願う宣言である。

## 事業所一覧

- 法人本部  
☎321-0902 宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(613)3707 FAX 028(666)6128
- 日中活動支援
  - ◇こぶし作業所  
TEL 028(653)1020 FAX 028(688)1121
  - ◇けやき作業所  
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
  - ◇第2けやき作業所  
TEL 028(677)0495 FAX 028(680)5938
  - ◇セルフ・みらい  
TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177
  - ◇県東ライフサポートセンター「真岡」  
TEL 0285(83)2567 FAX 0285(85)8055
  - ◇上三川ふれあいの家ひまわり  
TEL 0285(38)6821 FAX 0285(38)6841
- 相談支援事業
  - ◇障がい者生活支援センターこぶし
  - ◇芳賀地区障害児者相談支援センター
  - ◇上三川障がい児・者生活相談支援センター
  - ◇県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」
  - ◇地域活動支援センター「ほっとCHA」
  - ◇上三川ふれあいの家ひまわり  
地域活動支援センター

的制度的な課題の矛盾が浸透してしまい、本質的な矛盾へ向かう力をなかなかつくり得ないのが実状である。「共生の社会づくり」は、現実という壁にぶち当たって戸惑うのが常だ。現実の壁の中核部分は経済基盤から派生してくることが多い。私たちが考える人間性豊かな社会は、経済的に成り立たない社会なのだろうか。逆に言うと、人間尊重のしくみづくりから経済を考えていくことはできないのだろうか。



## 骨格提言とわたしたちの課題

国レベルの動向が私たちの活動内容を左右するのは当然だが、全てが拘束されるわけではない。むしろ骨格提言の実現は、現場のリアリティーのある受け止めにかかっているのではないかと。では、私たちの取り組みのポイントは何か。

こぶしの中で常に繰り返し言い交わされることだ。一つには、障がい当事者のねがいをどう受け止め、実現していくか。二つ目に、利用者・家族、地



骨格提言の実現を!!10.28JDF 大フォーラム

域住民・関係者、職員、経営者という立場の違う人々で構成する組織、地域社会の連携を、はじめのテーマの実現に向けてどのようにつくっていくかという課題である。

ことばを変えていうと、①リアリティー豊かな経験とねばり強い論理性で積み重ねること。②そのことが現実の団結に結び付くための、未来の人間を信頼する強い意志。①、②をひとつのこととしてとりくむことではないだろうか。未熟ではあるが、毎年二つのポイントに沿って真摯な対話と実績を積み上げていくことではないかと思う。

私たちが理事会、評議員会で確認した平成二十四年度事業計画は、昨年十二月以降、約三ヶ月間に渡り、関係者との連携を作りながら、各会議、ヒヤリング、個別面接等、粘り強いやりとりを繰返し、不一致点を含みつつも現状の考えを表す法人の考え方の現在

の到達点である。

総合福祉部会が、「わたしたちの思いが、国民や世論の理解と共感を得て、それが政治を突き動かし、障害者一人ひとりが自身の存在の価値を実感し、様々な人と共に支えあいながら生きていくことの喜びを分かち合える社会の一步になることを信じて、ここに骨格提言をまとめました。」と新法への一步を踏み出すことを呼びかけ提言を結んでいるように、私たちこぶしの会に関わるものは、骨格提言という当事者の願いに現場から少しでも近づこうように一步を踏み出す実践を重ねていきたい。



### 【注①】第19回総合福祉部会の報告から(抜粋)

私たちすべての人間は、本来、おそらく人生において予期しなかった苦悩や悲しみ、辛さを体験する存在です。それは個人の力ではどうにも避けられないことです。国家と社会全体で互いに支えあうしかありません。私たちが日本人は、こうした人と人との支えあいの大切さを、昨年3月の大震災をとおして、象徴的な体験として改めて心に痛切に刻みこみました。

なにも、障害者だけを特別扱いにしてほしいというわけではありません。道路を歩いたり、周囲の人と会話をしたり、トイレに行ったり、水を飲み、ごはんを食べ、酸素を呼吸する・・・などの人間の生存のための最低限の行為、人間が尊厳をもってこの社会で生きていくうえで、絶対に必要なことが自力ではなかなか難しい人々に対して、社会のみんなでお互いに支えあっていきましよう」と要望しているだけです。

弱い立場の人間を無視・軽視する社会は、やがて衰え、力をなくして滅びていくでしょう。逆に、たとえ人生でどのように困難な状態におかれ、辛い・苦しい状況におかれても、自分ひとりではないんだ、人としての尊厳をもって生きていける、社会のみんな支えあって生きていけるんだ、ということが国民すべてに実感されれば、その安心感は、一人ひとりの生きる活力となり、それが合わさって社会全体の活性化につながるでしょう。

政治家のみなさん、どうか政治家としての原点の志を、初心を思い出してください。

### 【注②】とちぎ地域・自治研究所、所報 平成24年2月号

今日の行財政の借金体質を継続拡大しているのは成果主義の市場経済原理主義的な経済政策ではなからうか。金融の自由化と生産活動のグローバル化政策が、地域の雇用の大部分を占める中小零細企業の衰退を促し、よって福祉対象者の拡大を推進する。高齢社会を迎える日本の社会にとっては地域社会の再建は全く望めない負の循環となって問題の深刻化を形成している。してみれば、単純化して言えば、危機的な日本の財政破綻を救う道は、現実に地域の雇用を作り出す中小企業や農業、自営業の振興に他ならない。福祉事業も優れてその一翼足りうるし、障がいのある人々の就労を含めた社会参加(自立)は確実に地域の経済に還元されるのである。重度障害者の自立する姿は、社会的弱者といわれる人々の自立のモチベーションに必ずや大きな貢献をする。そうした地域を支えるための重要な社会資源が福祉・介護労働なのである。価値観の転換、それに基づく経済政策の革新こそ求められるのである。

毎度おなじみのたまみシュランです。  
前回に引き続き「こぶし作業所」に行ってきました。  
今回はパンではなく、「にこにこ弁当」です。  
手作りのおいしい弁当を作り、販売をしています。  
弁当作りの仕事が終わると、給食の盛り付けの作業もしています。  
では、さっそくお弁当作りをみてみましょう。

こぶしんぽ  
パンザイフ

こぶしの会を食べ歩き!

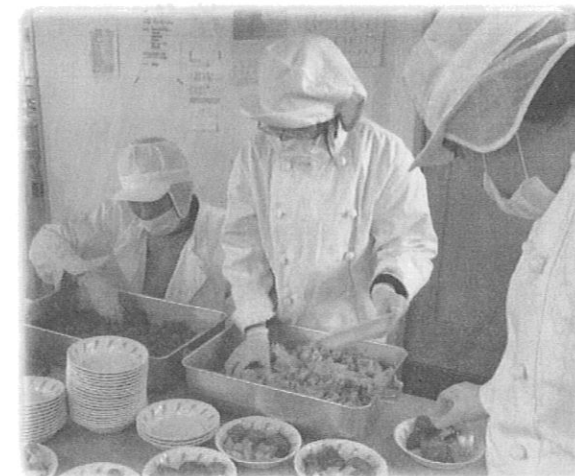


# たまみシュラン

こぶし作業所

## 「にこにこ弁当」

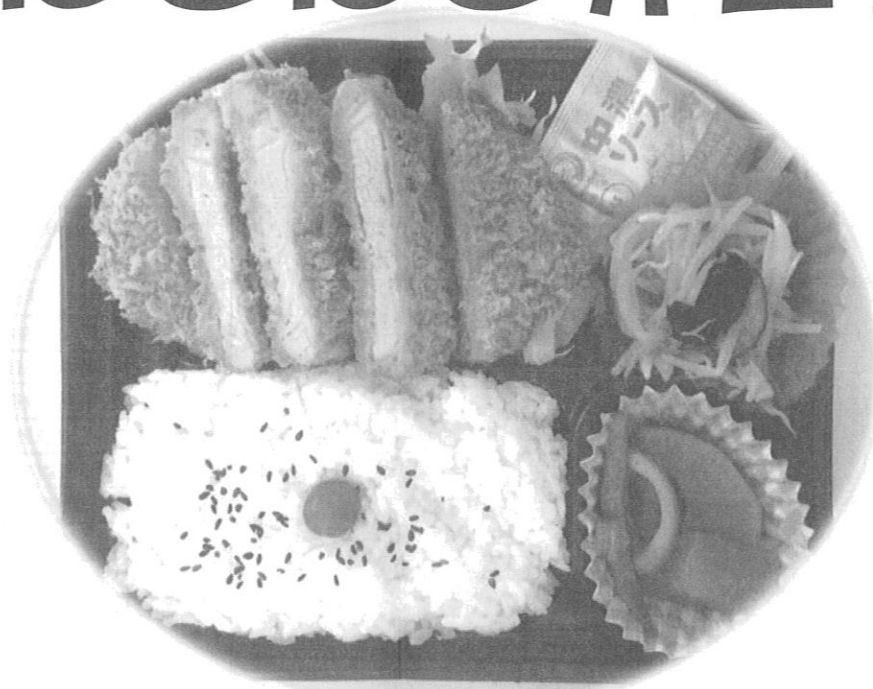
に行ってきました～



給食の配膳の様子もを見せていただきました。



雨二毛負ケス 風二毛負ケス  
石川幸子さんの早番勤務!!

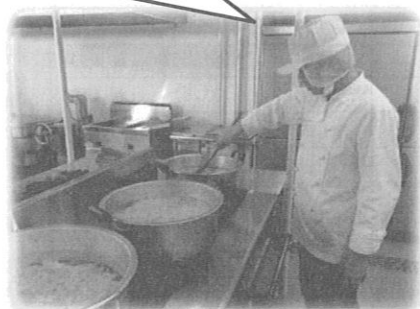


衛生には特に気を使い、「テキパキすばやく、キレイにしていねいに」をモットーに作業が進みます。

おいしいお弁当を作って、仲間と一緒にお客様のご注文をお待ちしております。  
詳しくはこぶし作業所までご連絡ください  
担当：堀内

### にこにこ弁当って?

- 何人で作っているの?  
利用者12～13名と職員2名で作っています。早番もあります。
- 1日何食作っているの?  
80～100食です。
- ここは負けないぞ!というところは?  
こぶしの仲間が作っていること。  
手作りにこだわり、見た目にもおいしい!と思ってもらえる(味だけではなく)お弁当を作っていること。
- どこで買えるの?  
ショップでも買えますが、注文していただくほうが確実です。
- 人気のあるお弁当は?  
エビフライととんかつ弁当です。



### こぶし作業所にこにこ弁当

宇都宮市茂原町 837-1  
こぶし作業所内  
☎ 028-653-1020  
Fax 028-688-1121



定番の日替わり弁当(500円)に加えて会議や交流会向けの特別弁当(予算に合わせて800円～)やオードブル、カツ丼にカレーライスとバリエーションはとっても豊富。たまみシュランを読んでいるあなた!!ぜひご注文を♡

### 感想の部屋



同行はふれあいの家ひまわり地域活動支援センターを利用されている矢野真由美さんと猪瀬敏男さんです。

矢野  
味もしっかりついていて、とてもおしかったです。手作り弁当を食べることができ満足です。  
猪瀬  
副菜もおいしく、500円では安いと思いました。また、食べたいです。

### 採点の部屋

星 ★★ 2つ半

- 良かったところ
  - 手作りのお弁当
  - お手頃価格(500円)
- 改善してほしいところ
  - 作っているところが見られない
  - 土曜日は買えない

### 取材同行者の感想と今日の採点です



お弁当だけではなく、惣菜も作っています。  
惣菜は、こぶき会館(火～金)宇都宮市役所(週1回水曜日)で販売しています。



# こぶしづかん

～わたしのおすすめの本～

こぶしづかん

こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎回紹介するよ。



## それでもやっぱり がんばらない

集英社  
鎌田實 著  
(現:諏訪中央病院名誉院長)

長野県の諏訪中央病院を舞台に、延命だけの治療でなく、患者と共にどう生きるか、どう死ぬかを考え、最期を迎えるまでの患者本人や家族、医療スタッフの悲しくも心温まるエピソードが綴られています。「がんばれ」という言葉が好き日本人ですが、日々本当にがんばっている人に安易に「がんばれ」と声をかけることは、実はその人を傷つけているのではないかという疑問を投げかけてくれます。

「“がんばれ”を、他人に安易に使わない、今の自分のポリシーになりました」

自分の将来を見つめ直したいと思立ち、こぶしに転身して1年4カ月。こぶし作業所で開発製造班として和紙作りなど様々な業務を行ない、休日はスポーツ観戦、ドライブ、カフェ巡りと多様な趣味をもつ！



岩上 明

今年でこぶし3年目。現在はセルフ・みらいで生活介護事業を担当し、仲間の支援に奔走する。取材に訪れた編集委員を翻弄する巧みな話術と、趣味の人間観察で養われた観察眼が「みらい」を創り出す！

## 森島 知代



「短い文で読みやすい!!」

そして何よりカワイイです」

「菜根譚」という中国の人生書(儒教・道教・仏教)の教を1ページずつ「くまのプーさん」のイラストつきで説明してあります。

仕事で行き詰った時やミスした時に励まされるような言葉、当たり前と思っていたことが実はそうではなかったり、ちょっと難しかったり…そんな大切なことに気づかせてくれる「深いなあ」と思わせてくれる一冊です。



くまのプーさん  
小さなしあわせに気づく言葉  
～「菜根譚」が教えてくれる人生で大切なこと～  
PHP 文庫

取材: 松本祐一

### 感謝!! ご寄付を頂き ありがとうございました。

～みなさまに支えられて、こぶしの会は地域の社会資源になれます～



木村民子様(右から二人目)



スイートピーの会(上三川町)様(右のお二人)

障がいを持った方たちの働く場、暮らしの場のために有効に活用させていただきます。

# 平成24年度 事業計画・予算 その1

去る3月18日(日)法人理事会・評議員会が開催され、24年度事業計画・予算が決定されました。以下に記す課題に職員が全力を挙げて取り組めるように、厳しい財政事情のなかで、職員配置基準を上回る精一杯の職員体制を強化しました。

事業計画は次号  
所長座談会の巻  
につづきます

## ●予算書(単位:千円)

区分	科目	実績予測	H24年	前年差額
		H23年 3次補正	当初予算	
事業収支	就労支援事業収入	59,780	86,941	27,161
	就労支援事業支出	65,753	85,424	19,671
	収支差額	▲ 5,973	1,517	7,490
就労会計	福祉事業活動収入	457,506	445,117	▲ 12,389
	福祉事業活動支出	450,240	448,705	▲ 1,535
	収支差額	7,266	▲ 3,588	▲ 10,854
	設備整備寄付収入	8,560	2,160	▲ 6,400
	固定資産取得支出	14,915	150	▲ 14,765
	収支差額	▲ 6,355	2,010	8,365
	財務活動による収入	53,501	501	▲ 53,000
	財務活動による支出	10,059	17,430	7,371
	収支差額	43,442	▲ 16,929	▲ 60,371
	当期資金収支差額	38,380	▲ 16,990	▲ 55,370
一般会計	経常活動収入	149,536	167,622	18,086
	福祉事業活動支出	149,665	158,298	8,633
	収支差額	▲ 129	9,324	9,453
	設備整備寄付収入	6,134	0	▲ 6,134
	固定資産取得支出	3,312	0	▲ 3,312
	収支差額	2,822	0	▲ 2,822
	財務活動による収入	0	0	0
	財務活動による支出	4,275	6,816	2,541
	収支差額	▲ 4,275	▲ 6,816	▲ 2,541
	当期資金収支差額	▲ 1,582	2,508	
公益会計	経常活動収入	25,091	20,500	▲ 4,591
	経常活動支出	24,886	20,294	▲ 4,592
	収支差額	205	206	1
	収支差額	▲ 205	▲ 206	▲ 1
当期資金収支差額	0	0	0	
全社	収益	760,108	722,841	▲ 37,267
	費用	723,310	737,323	14,013
	収支差額	36,798	▲ 14,482	▲ 51,280

- ① 利用者の自己決定の重視とニーズを実現する支援力の強化
- ② 職員の個別キャリアアップ計画と法人第三次長期計画づくり
- ③ ルールと協議に基づいた組織づくり
- ④ 健全財政の確立と集团的予算管理の強化
- ⑤ 地域住民、関係団体・機関との連携強化

- ① 利用者支援の質の向上、とりわけ障がいの重い利用者の活動プログラム
- ② 工賃アップを目指す生産・販売目標の月次計画の作成と管理
- ③ 全ての日中活動支援事業所における一般就労支援の強化
- ④ これらの場の支援手引書の改善と支援強化
- ⑤ これらの支援の基本となるニーズをしっかりとらえる実践に基づく個別支援計画の作成・見直しの取り組みの強化
- ⑥ 自治会活動支援体制の強化

## 事業計画重点課題

## 具体的取り組み

・利用者の喜び、充実感につながる支援を目指します  
・職員の働きがい、生きがいを生む職場環境づくりを目指します  
・ともに生きる地域社会づくりを目指します

## ●職員数(2012.2.28現在)

雇用形態別	H23年度	H24年度
正規職員	61 (47.7%)	64 (50.0%)
非常勤職員	67 (52.3%)	64 (50.0%)
合計	128人	128人

※正規職員、常勤的非常勤職員の増による支援の安定化をめざす。

## 平成23年度利用者延べ人数(2012.2.28現在)

事業種別	人数
就労移行支援事業	394
就労継続支援事業	1,766
生活介護事業	722
グループホーム・ケアホーム事業	560
地域活動支援事業等	77
合計	3,519人